

OPEN AIR Vol. 01

船場アートサイトプロジェクト Vol. 01

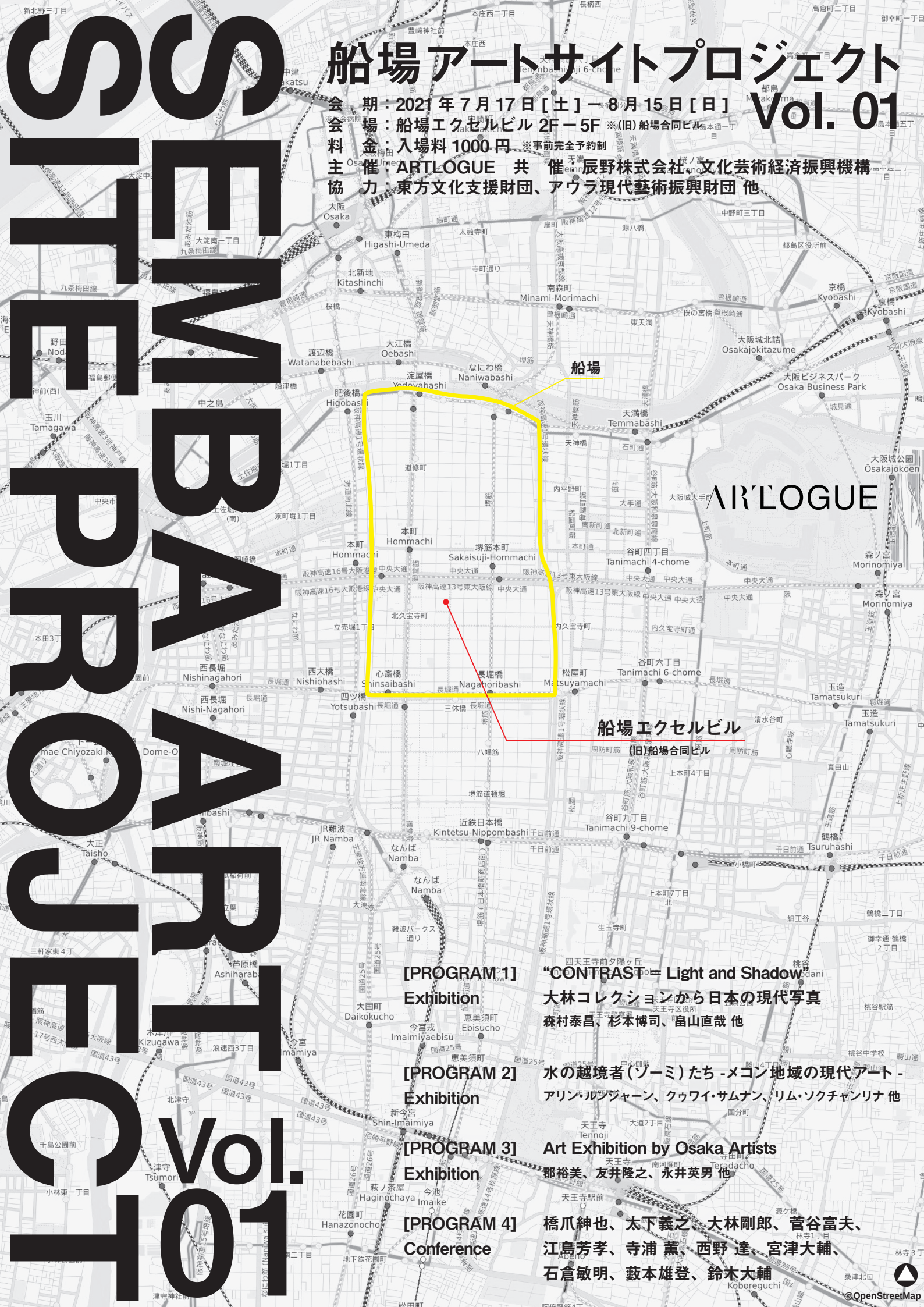
会期：2021年7月17日[土]ー8月15日[日]

会場：船場エクセルビル 2Fー5F ※(旧)船場合同ビル南本通一丁目

会料：金・入場料 1000 円 ※事前完全予約制

主催：ARTLOGUE 共催：辰野株式会社、文化芸術経済振興機構

協力：東方文化支援財団、アウラ現代芸術振興財団 他



船場

船場エクセルビル

(旧)船場合同ビル

[PROGRAM 1]
Exhibition

“CONTRAST = Light and Shadow”
大林コレクションから日本の現代写真
森村泰昌、杉本博司、畠山直哉 他

[PROGRAM 2]
Exhibition

水の越境者(ゾーミ)たち-メコン地域の現代アート-
アリン・ルグジャー、クワイ・サムナン、リム・ソクチャンリナ 他

[PROGRAM 3]
Exhibition

Art Exhibition by Osaka Artists
郡裕美、友井隆之、永井英男 他

[PROGRAM 4]
Conference

橋爪紳也、太下義之、大林剛郎、菅谷富夫、
江島芳孝、寺浦薫、西野達、宮津大輔、
石倉敏明、藪本雄登、鈴木大輔

船場アートサイトプロジェクト Vol. 01

ARTLOGUE

会 期：2021 年 7 月 17 日 [土] - 8 月 15 日 [日]
会 場：船場エクセルビル 2F-5F ※(旧) 船場合同ビル
料 金：入場料 1000 円 ※事前完全予約制
主 催：ARTLOGUE 共 催：辰野株式会社、文化芸術経済振興機構
協 力：東方文化支援財団、アウラ現代芸術振興財団 他

「船場アートサイトプロジェクト Vol.01」は、2025 年に大阪・関西万博の開催を控え、国内外から注目を集める大阪、その中心地でもある船場エリアの、通称「中船場」に位置する「船場エクセルビル ※(旧) 船場合同ビル」を舞台に、美術展覧会、トークイベントなどを同時に行う複合的な現代美術のイベントです。

今回のイベントでは、大阪由来の企業人かつ現代美術コレクターであり、近年は国際芸術祭「あいち 2022」組織委員長としても知られる大林剛郎氏が、自身のコレクションから大阪ゆかりのアーティストを含む、日本を代表するアーティストの写真作品を選定した「CONTRAST = Light and Shadow」大林コレクションから日本の現代写真、水運に支えられ諸外国との交易拠点としての歴史を有する大阪 / アジアからグローバルゼーションや資本主義のあり方を再提示する、アウラ現代芸術振興財団の映像作品コレクション展「水の越境者(ゾーミ)たち - メコン地域の現代アート -」、大阪ゆかりのアーティスト等による作品展示に加え、7 月 16 日、17 日には関連カンファレンスも開催します。

開催地となる船場は、大阪の歴史的な中心市街地で、北は土佐堀川、東は東横堀川、南は旧長堀川(現在は長堀通)、西は旧西横堀川(現在は阪神高速道路)に囲まれた南北 2.1km、東西 1.1km の約 230ha の区域を指します。かつて船場の旦那衆と呼ばれる経営者達が住まい、文化芸術を支え育てていた船場を、国内外に存在感を示すアートの発信拠点として再び躍進させたいと考えています。

また、「船場アートサイトプロジェクト」では、「Vol. 01」を皮切りに、万博開催と同時期の 2025 年、大阪での芸術祭開催を目指すイベント「スタディ:大阪・関西国際芸術祭」(2022 年 1 月開催予定)や、産官学民が連携し大阪の国際芸術都市化を思考する「国際芸術都市大阪研究会」とも連携させながら、人が集い都市や社会が形成される過程のように、大阪におけるアートの可能性を集合知型で探求していきます。

- 会 期：2021 年 7 月 17 日 (土) ~ 8 月 15 日 (日)
(コア期間:7 月 17 日~7 月 20 日 ※コア期間以降毎週金・土・日・祝日・振替休日開館)
- カンファレンス：7 月 16 日 (金)、17 日 (土)
- 時 間：11:00 ~ 20:00 (プレス・ビューの 16 日を除くコア期間)
※コア期間以降は以下の時間で開館いたします。
金：16:00 ~ 19:00 土：13:00 ~ 19:00 日：13:00 ~ 19:00
祝日/振替休日 (7 月 22 日、23 日、8 月 8 日、9 日)：13:00 ~ 19:00
- 会 場：船場エクセルビル ※(旧) 船場合同ビル (大阪市中央区久太郎町 3 丁目 2-11)
- 料 金：入場料 1000 円/回 (17 日分については会場もしくはオンラインでのカンファレンス視聴も含む)
カンファレンス オンライン参加料 500 円/回

※事前完全予約制 (日時指定につき、予約時間以外のご入場はお断りいたします)

公式サイト URL : www.sembar-art.site

チケット販売 URL : sembar-art-site-pj1.peatix.com

出展作品例



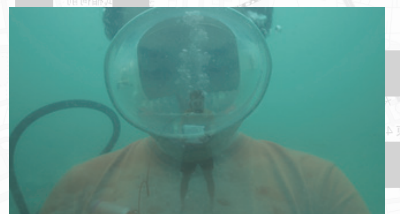
Arin Rungjang (アリン・ルンジャー)
《Golden Teardrop》

主人公は、大阪出身の女性。タイの屋台でみる伝統菓子「トーンヨート」から、時空を超えて、欧州、アジア、日本に繋がる砂糖の広大な交易史を体感可能である。第 55 回ヴェネチア・ビエンナーレ出展作品、シンガポール・アート・ミュージアム収蔵作品。



Khvay Samnang (クワイ・サムナン)
《Popil》

《Popil》は、ハウス・デア・クンストでの個展(2018 年、ミュンヘン・ドイツ)に際し制作された。カンボジアの漁で使用される罾で編まれた龍のマスクが象徴的に表われ、それを被ったクメール舞踊の踊り手が登場する。二匹の龍は愛し合い、時には対立しながら華麗に舞い踊る。英国フリーズ、バンコク・アート・ビエンナーレ出展作品。



Lim Sokchanlina (リム・ソクチャンリナ)
《Letter to the Sea》

タイとカンボジア国境の海底で声なき声を発する男がいる。彼の声は、気泡として海の全体に広がり、過去の海民達と海の精霊に届くのだろうか。シンガポール・ビエンナーレ出展作品。



公式サイト



チケット販売